

編集後記

「泥棒を見て縄をな(綱)う」ということわざは知っていても、現代人のどれほどが縄をなった経験があるのだろうか。宮里先生は、お正月のしめ飾りの縄をなう体験の場を子どもたちに用意する過程で、人の好意や偶然的な出会いなどの予測できないものも巻き込みながら、「地域のつながり」という「縄」をなっていたと振り返る。縄には仕切る働きとつなぐ力があり、使いようである。

寺社の太いしめ縄も、中身はばらばらの稲わらのつながりなのだ。一本一本別々のものが絡み合って長くなり、強い連続性を紡ぐというのも不思議な気がする。しかし「切れ目なく同じ向きを向いていたほうがよくつながる」という普段の発想の方を疑ってみてもいいのだろう。(H)

幼児の教育 第107巻 第12号

平成20年12月1日発行
編集兼発行人 浜口順子
編集部 永山 綾
発行所 日本幼稚園協会
〒112-8610
東京都文京区大塚2-1-1
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発売所 株式会社 フレーベル館
☎03-5395-6604 (編集)
振替 00190-2-19640
印刷所 図書印刷株式会社
定価 550円 (本体524円)
©日本幼稚園協会 2008 Printed in Japan

表紙絵 佐藤奈々
扉カット 佐藤奈々
扉題字 津守 眞
カット 斎藤明子
編集委員 伊集院理子
上坂元絵里

ご購入のお問い合わせは、
フレーベル館までお願いします。
☎03-5395-6613 (営業)

次号予告

〈特集〉子どもと新年

立川多恵子・すとうあさえ・鈴木禎宏・私市和子

- ・新連載 岸井慶子・砂上史子
- ・新コーナー「園長のまなざし」第1回 向山陽子

☆次号の内容は都合により変更される場合があります。



ご意見・ご感想大募集

『幼児の教育』バックナンバーのネット公開が始まりました！

お茶の水女子大学附属図書館のHP上、教育・研究成果コレクション "TeaPot"
<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/>へアクセスしてご覧ください。

明治34年発行の創刊号から発行後2年以上たったものまで、順次公開していく予定。ご意見・ご感想などは、youjimap@yahooc.yahoo.co.jpまでお寄せください。